

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

## ②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園川上町	種別：保育所
代表者氏名：園長 小澤みずゑ	定員（利用人数）：90名（89名）
所在地：〒244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町88-1 東横ビル2F	
TEL：045-438-8700	ホームページ： <a href="https://www.like-kn.co.jp/academy/">https://www.like-kn.co.jp/academy/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2008年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 18名 非常勤職員： 6名
専門職員	（専門職の名称）
	保育士： 18名 栄養士： 3名
	看護師： 1名
施設・設備 の概要	（居室数） 7部屋
	（設備等） 5階建てビル内の2階部分を使用

## ③理念・基本方針

【保育理念】のびやかに育てだいの芽【保育方針】みとめ愛(信頼)・みつめ愛(安定)・ひびき愛(共感)人を信じ尊重し、自分のことも友だちのこともすきと言える認め合う心・あたたかい眼差しに見守られ見つめられ心地良く安定した心・響き合い共感し合い喜びと自信を持って逞しく生きていける心を育みます。

<保育園像>

○陽だまりのような保育園

○地域と共に育つ保育園

○子どもと共に輝いていける保育園家庭的で陽だまりのような保育園が「にじいろ保育園」です。地域の皆様も気軽に集い、子ども達を中心に保護者、地域、保育園が子育ての楽しさを共に分かち合い生き生きと輝いていける保育園を目指します。【保育目標】自然を愛し、心身共に健やかな子ども・自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども・「仲間」と関わり、人を思いやれる子ども・自己を表現できる子ども

## ④施設・事業所の特徴的な取組

○温かな空間が「人」を育てるという考えの元に温かな家庭的な保育園を目指しています。

○お話が聞ける子に・・・周りのお友達や大人の話が聞ける子に。絵本や紙芝居をじっくり見ておはなしの世界で創造力を養ったり、人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりする機会を大切にしています。

○好きな遊びで遊び込める子に・・・遊びの中には様々な学びがあると思います。一人でまたは友だち同士で考えながら、遊びを広げたり深めたり「楽しかった」の経験を積み重ねていきます。

○丈夫な身体作り・・乳児クラス・幼児クラスと分かれて「リトミック」に取り組んでいます。音を良く聞いて体の末端まで動かし気持ちよさ楽しさを味わいます。また天気や気候の良い時には散歩に出掛け、足腰を鍛えたり、交通ルールを覚えたり、季節の変化を感じたりしています。また、栄養士や看護師と健康教室を企画しています。

○行事の取り組み・・大きな行事は「にじいろ祭り」「運動会」「おたのしみ会」があります。それぞれの年齢に合わせて、子ども達同士で相談したり、目標を設定したりしながら、相手を尊重したり、思いやったりしながら達成感が味わえるようにします。また季節の行事も大切にして、子ども達の心に残るようにします。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月17日（契約日） ～ 2021年3月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成23、27年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・ **職員の定着につながる取り組みを進めている**  
経営層は、職員に任せることと達成感を持つことが成長につながると考えており、行事では担当者に業務を一任することで自ら考え実行できるよう働きかけ、成長の機会となるように取り組んでいる。行事後はアンケート調査を行い、その結果を職員会議で検討して、改善すべき事項を整理し次年度につなげるとともに職員の成長にもつなげている。時間をかけて職員を育成できる環境を大切にしている。
- ・ **クラスを超えて職員全体で子どもの状況の把握に努めている**  
毎日の打合せや職員会議の中で、子どもの状況を確認し職員間で共有できるように努め、担当クラスだけでなく他のクラスの子どものについても把握し対応できるように取り組んでいる。ワンフロアの特長として、隣のクラスの活動や様子もわかりやすく、職員同士もクラスを超えて相談しやすい環境にあることもうかがえる。保護者アンケートにおいても、「担任以外の職員も子どもの名前を覚え話しかけてくれるので、子どもが安心して過ごせる環境である」などの対応を評価する声が聞かれている。
- ・ **制限がある中でも、内容の工夫により食育活動に力を入れて取り組んでいる**  
コロナ禍において、クッキングは中止になるなど年間食育計画の内容に変更が生じているが、制限がある中でも出来ることを検討し、食事のマナーを伝えるなど、子どもの興味に合わせた内容の食育活動を栄養士が率先して実施につなげている。三食栄養群、味噌づくりの話、牛乳ができるまで、魚についてなど、子どもが楽しみながら食に対して興味を持つことができるよう食育活動に力を入れている。

◇改善を求められる点

- ・ **緊急時や非常災害時に地域とさらに連携できるような体制作りを目指している**  
子どもの安全の確保・向上を図るために、避難訓練を実施しているほか、緊急時の職員対応や役割分担を明確にしている。事故、感染症、侵入、災害などの事例は、法人の園長会などで得た情報を会議で周知して園としての対策を講じている。地域の感染症情報を、いち早く保護者に伝え、登園時・降園時に配置して安全の確保に取り組んでいる。立地や園内環境を踏まえ、緊急時や非常災害時に地域や関係機関と連携して適切に対処できるように、より安全性を高めることを目指している。

**・環境設定については、継続して検討を重ねている**

子ども一人ひとりが自主性や主体性を発揮して過ごせるように、年齢ごとの子どもの成長や発達を把握し共有できるように努めており、子どもが自分で考える力を育むことができるように援助している。ワンフロアの広々とした園内であり、各保育室は年齢に合わせた設定の工夫がされ、子どもの発達や季節などを考慮し定期的に見直しを行っている。室内の環境設定については継続して課題として検討を重ねており、より良い環境づくりを目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

5年前に第三者評価を受けました。そこから職員の異動は少なく課題となる事をみんなで一つ一つ解決し積み上げてきたつもりです。職員が動かずじっくりと保育に取り組むことは木の年輪が足されて行くように保育園が育ってきたようにも思います。今回の受審も保育園運営をする中で様々な角度から保育園としての役割を見直し、改めて課題となることを実感させてもらいました。保育はこれが絶対正しいという答えはなかなかありません。試行錯誤の毎日で今だけを見つめるのではなく、長期に渡る目線も大切なことである事を知りました。ここも課題として今後の保育運営の中で頭に入れ、計画の見直しをしておきたいことだと思いました。また保護者の皆様にもアンケートに協力していただき、ご意見・お気持ちを受け止めました。大変励まされました。ありがとうございました。これからの5年後も保育園が成長できるように温かな空間作りをして、子ども達・保護者の皆様・職員一同みんなで成長していきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり